

鏡川流域パートナーシップだより No.153 R6.6.27



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

鏡川流域関係人口オンライン交流会に参加してみませんか？

鏡川流域関係人口オンライン交流会



まちのコイン「ぼっちり」のスポット「ぼっちり広報部」では、毎週木曜 20時から 21 時半の間にオンライン交流会を開催しています。

誰でも気軽に参加できるこの交流会では、参加した人の関心ごとに合わせて話題を展開し、参加者のアイデアを鏡川流域で生かす方法などを考えています！

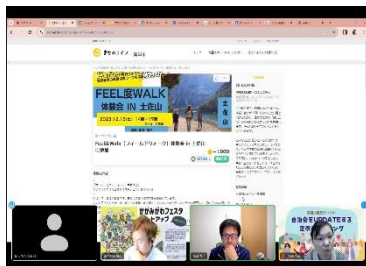
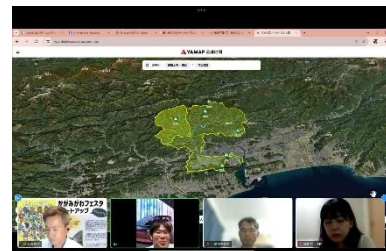
参加者は、鏡川流域関係人口講座受講生や、「ぼっちり」のユーザーを中心に、幅広い年齢・立場の人が集まっています！愛知県や東京都など、高知市外からの参加も多数。

6月6日(木)は、高知大学地域協働学部1回生の学生さん2名が参加し、「鏡川流域パートナーシップだより」を共有しながら、学生さんが「ぼっちり」を活用して取り組んでいることなどを紹介しました。



6月20日(木)は、鏡川流域マップを見ながら、上流域・下流域がひとつの市域に収まる鏡川流域の特徴を把握！

公共交通の視点から、鏡川の上流域と下流域をつなぐアイデアを出し合いました。



交流会への参加は下記 QR コードから！ぜひ、それぞれの「やってみたいこと」を鏡川流域で形にするためのアイデアと一緒に考えましょう！



「ぼっちり広報部」では、「ぼっちり」アプリの認知を広げるための体験チケットが発行され、多くのユーザーからコメントが届いています！

- 母を誘ったらすっかりはまっています。移動中、「ぼっちり」のコイン拾いを優先させられるほど。母の「ぼっちり」スタンプラリーに付き添うために子どもたち2人もユーザーになりました。知らなかった高知を学べてます。
- 他学部の友達にインストールしてもらいました！
- これから誘います！素敵なこのまちの魅力を伝えたいと思います！



- アイデアが豊富、画面でも皆さんの取組に対する本気度が伝わってきます。
- オンライン体験がたくさん。読むのが好きだから、鏡川流域パートナーシップだよりなどを読み物として楽しんでいます。現地チェックインができなくても高知を知ることができ、じわじわ身近に感じられる。
- 鏡川に関する体験がたくさんあって、どこにいても鏡川のことを知ることができて楽しいです。
- 地域発信方法がいいと思います。クイズ形式の体験があれば、さらに良いと思います。



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android